

地域と共に創る
PTA活動を目指して



島Pだより

No.56

2026.3



令和7年度を振り返って

島根県PTA連合会

会長 坂手 洋介

日頃からPTA活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和7年度は8月2日に中国ブロック広島市大会、3日に島根県PTA研修大会・鹿足大会が開催されました。2日続けての研修会でしたが、多くの方に参加いただきとても有意義な学びの場となりました。

鹿足大会の開催にあたり、ご尽力いただきました多くの役員の皆様方、ありがとうございました。

また、8月22日・23日には全国研究大会が石川県で開催されました。石川県は令和6年1月に能登半島地震が発生、9月には豪雨災害が発生し大変大きな被害が相次ぎました。そのような中、子どもたちの日常を取り戻し、学びの環境を確保するために、行政や関係機関と力を合わせてPTA活動を進めてこられました。研究大会の分科会において、「PTAの存在意義」や「防災」についてもテーマとして設定されており、実体験を踏まえた講演などは、大きな学びの場となりました。

大会実行委員会の宇田直人委員長の挨拶の中で「私たちPTAこそが、子どもたちのために、何でもできる一番の組織であり、一番の活動だ」と言われたことがとても印象的でした。

そして、島根県PTA連合会ではPTA活動等の一層の充実と発展を図ることを目的として支援事業を行っています。令和7年度も多くの単P・市郡Pより応募がありました。地域の特徴を活かした活動など活発に行われていることが伺え大変うれしく思います。

12月には令和7年度日本PTA全国協議会、年次表彰式も行われました。島根県からは、大田市立志学小・中学校PTAが表彰されました。

広報紙コンクールでは、企画賞に松江市立八雲中学校PTA、佳作に安来市立十神小学校PTAと安来市立第一中学校PTAが選ばれ受賞されました。

日頃の活動の成果、PTA活動に対する情熱などが大きく評価され大変うれしく思います。本当におめでとうございます。

令和7年度も子ども達の笑顔や真剣に取り組む眼差しに接し、健やかな育ちのために、地域・学校・PTAそして子ども達との繋がりをもっと密にし、それぞれの思いを共有し、最大限に活かしていくことが重要であると改めて思いました。

引き続きPTA活動にご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

ご挨拶

公益社団法人日本PTA全国協議会 会長 太田 敬介



島根県PTA連合会の会員の皆さまにおかれましては、日頃よりPTA活動への深いご理解と温かなご協力を賜り、心より敬意と感謝を申し上げます。公益社団法人日本PTA全国協議会会長の太田敬介です。このたび、会報「島Pだより」にあいさつの機会をお寄せいただき、大変光栄に思っております。

島根県は、日本海に面した豊かな海、四季折々の表情を見せる山々、そして長い歴史と神話が息づく土地です。地域の祭りや行事、日々の暮らしの中で、人と人が自然に声を掛け合い、支え合う文化が今も大切に受け継がれている素敵な地域です。学校を中心に、保護者、教職員、地域の方々が顔の見える関係を築きながら子供たちを育ててこられた島根の姿は、まさにPTA活動の原点そのものだと感じています。

島根県PTA連合会と日本PTA全国協議会は、これまでもさまざまな場面でつながりを持ち、情報や思いを共有しながら活動を続けてまいりました。全国組織である日本PTAは、各地域の声に学び、その土地ならではの実践を大切にしながら、ともに考え、ともに歩む存在です。私は、鹿児島に住んでおりますが、島根も鹿児島も小規模校が多く、一人一人の存在が身近に感じられる中で、「人を大切にする」教育が受け継がれてきたことは共通しているのではないのでしょうか。

近年、PTAを取り巻く環境は大きく変化しています。少子化

や共働き家庭の増加、価値観の多様化などにより、PTA活動に対する感じ方もさまざまです。そうした中で求められているのは、これまで力をあわせて取り組んできた「協働的なPTA」と、個に応じた関わり方を育む「個別最適なPTA」だと考えています。

日本PTA全国協議会では、全国各地のPTAが互いに学び合い、支え合えるネットワークづくりを進めています。島根で生まれた工夫や実践、地域の特性を生かしたPTA活動は、他の地域のPTAにとっても学ぶべきものであり、それらを全国へとつなげていくことも、私たちの大切な役割だと考えています。

この「島Pだより」を通じて、日本PTAとのつながりを少しでも身近に感じていただき、島根県PTA連合会と日本PTAが、同じ思いをもって子供たちの未来を支えていることをお伝えできれば幸いです。温かい先生方や保護者に見守られながら育つ島根の子供たちが、ふるさとに誇りを持ち、自分らしく歩んでいけるよう、これからも力を合わせてまいりましょう。

結びに、島根県PTA連合会のますますのご発展と、会員の皆さまお一人お一人のご健勝、そして子供たちの明るい未来を心よりお祈り申し上げます。

PTAの背中を見る子どもたち

島根県小学校長会 会長 佐藤 淳
(松江市立大庭小学校 校長)



県内の小学校では児童数減少により、PTA会員数も減少し、活動の見直しを図られているとの声も聴きます。学校の統廃合も進み、私が勤務した学校も2校が無くなっています。そのような中で、私が勤務している松江市立大庭小学校PTAで行われる印象深い活動をご紹介します。

大庭公民館納涼祭では、大庭小PTAが焼きそばやジュースの販売を行います。まだまだ猛暑の残る8月下旬、PTA会長自らが鉄板の前に立ち、たくさんの焼きそばを焼かれます。今年は300食分のことです。ジュースの販売も大人気です。私もちょっとだけ「てご」しました。子どもたちもこのイベントをととても楽しみにしており、小学生も中学生も多く訪れます。

この活動に触発されたのでしょうか。青少年健全育成の取組の中で、小学生が秋の公民館文化祭に出店することになりました。大庭小と竹矢小の子どもも有志が、何をするかという

ところから話し合いました。結果「こども屋台」と題して、お菓子作り、スーパーボールすくい、ラーメン、あてくじ、射的のお店を出すことになりました。手作りで道具を作り、景品を買い出しに行き、ラーメン屋さんからチャーシューを仕入れ、人数が足りない分は友達に協力を依頼し…と、自分たちのアイデアを形にしていきました。文化祭当日は、かつてないほどの来場者でした。学校や地域のために自分たちでできることを考え実行するたくましい姿は、きっとPTAの活動の写し鏡であったはずで、小学生を陰ながら支えてくれた中学生ボランティアにも感謝です。

子どもたちが地域に愛着と貢献意欲をもち、ふるさとの中で育つことを通して、10年後20年後のPTA活動につながることを楽しみにしています。

市郡P連活動報告

島根スサノオマジック×出雲市PTA連合会 交流イベントを開催!

出雲市PTA連合会 会長 山下 明博



11月22日、出雲市PTA連合会は島根スサノオマジックの選手2名をお迎えし、親子で楽しめる交流イベントを開催しました。応募は約700名にのぼり、当日はスタッフを含め484名もの皆さんにご参加いただき、大変賑やかな時間となりました。

イベントでは、まず育成コーチによる体を動かすミニゲームで参加者が選手とハイタッチなど直接的なふれあいを体験していただきました。子どもたちは目を輝かせ、楽しさを味わっていました。続く出雲に関する〇×クイズでは地域・防災・同和の要素を取り入れ会場全体が大盛り上がり! 正解のたびに声があがり、保護者の皆さんも一緒になって楽しんでいただきました。

さらに、出雲三中英語部さんにご協力をいただき、選手への英語でのインタビューとフリートークショーを行いました。プロとして日々努力する姿勢や、辛いときや気持ちが前に向かないときでも自分と向き合うメンタルの大切さなど、子どもたちへの励ましとなる言葉が語られました。挑戦を続ける

選手の言葉は、参加者の心に強く響いたと感じています。今回の交流を通じて、人とのつながりや前向きにがんばる姿勢の大切さを改めて感じることができました。

さいごに、ご参加くださった皆さま、島根スサノオマジックの選手・スタッフの皆さま、運営ボランティアの皆さま、開催にご尽力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。



PTA組織のスリム化を目指して

~「大人が楽しめば子どもも楽しめる!」持続可能なPTA活動~

益田市立吉田南小学校PTA 会長 大畑 圭



吉田南小学校PTAでは、全家庭の約半数が役員を担っている状況が続き、負担の偏り等が課題となっていました。そこで、「誰かがやる活動ではなく、やりたい人が声をあげ、できる人が協力する」組織を目指し、PTAの大幅な見直しに取り組みました。

改革の柱は3つです。まず、負担が大きかった地区委員を廃止。次に、5つあった実行部を3つにまとめ、部員は各学年のクラス役員が担う仕組みに変更しました。また、負担が大きかった再生資源回収をやめ、子どもの学びにもつながるアルミ缶の常時回収のみを継続することにしました。

さらに、登校の見守りや学校行事の準備などは、「できる人ができるときに協力する」形へ移行。平日開催となった運動会でも、保護者が自然に助け合う姿が見られるようになりました。

11月には、新しい試みとして「ステキがいっぱい!スマイルフェス」を開催。大人も子どもも本気で楽しむイベントとなり、親子対決リレーや全員参加の貨物列車で大盛り上がり。普段できない親子の会話も生まれ、「お父さんお母さんって

すごい!」という子どもの気づきにもつながりました。

子どもの健全な育成がPTAの目的です。続ける・やめるではなく、どう変わっていくかをみんなで考えながら、子どもたちが安心して楽しく過ごせる環境づくりを進めていきたいと思っています。そのためにも、まず私たち大人が楽しむ姿を見せたいと思っています。

来年度から新しいPTAが始まります。上手くいかないこともあると思いますが、今から楽しみです。



活発で主体的なPTA活動

—関わる人の負担軽減と持続可能な組織づくり—

大田市立第一中学校PTA 会長 根宜 和之

本校PTAでは、組織として持続可能な体制づくりと、保護者が主体的に活動できる環境の整備を進めてきました。その結果、保護者や教職員の負担軽減が図られるとともに、参加しやすく興味を持ちやすいPTA活動へと変化しつつあります。

まず、PTAへの参加は任意であることを改めて確認し、「取り組みたいことがある人が主体的に関われる組織」を目指して会則を改正しました。これにより、役割の押しつけや形式的な参加を減らし、無理のない参加体制を実現しています。

また、啓発や研修ではオンライン配信やオンデマンド視聴を活用し、参加者が都合に合わせて参加できるよう工夫しました。総会出欠や次年度役員希望調査についてもWebフォームを導入し、意見を表明しやすい仕組みに改善しています。



さらに、PTA役員による企画提案型の研修を実施し、多様なテーマの学習機会を提供してきました。参加可能な人が、自分に合った形で学べる点が好評です。

〈主な実施研修や取組〉

- ・市教育委員会教育長との対談
- ・救命講習、地震体験車を活用した防災研修
- ・アンガーマネジメント講座
- ・ヤングケアラー理解研修
- ・再資源回収、校地内奉仕作業
- ・広報誌発行による職員紹介など

本校のPTA活動は、「無理なく参加できること」を大切にしており、一人ひとりの小さな協力が大きな力となっています。今後も、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちのより良い成長のために、引き続き活動を進めてまいります。



素敵なふれあい

～PTA研修「親楽プログラム」を通して～

松江市立佐太小学校 教頭 鷓鴣 健

この度、PTA研修として「親楽プログラム」を実施いたしました。

当初、異なる学年の保護者の皆様と教員が一つのグループになるワークショップ形式に、皆様が円滑に交流できるか、若干の懸念もございました。しかし、「しあわせジャンケンポン」という明るい声出しで始まり、会場の雰囲気は一気に和やかなものとなり、その懸念はすぐに払拭されました。

グループワークが始まると、「社会に出たとき、周りの人をパッと明るくできるこどもに育てほしい」「人として大切なことが自分で判断できるこどもに育てほしい」「自分はみんなに支えられていると感謝の気持ちをもてるこどもに育てほしい」など、参加された保護者の皆様から、熱い思いが次々と語られ始めました。

親として願う「こんなこどもに育てほしい」という目標を、グループ内で真剣に話し合い、全体でも積極的に意見を交換することができました。普段、交流の機会

が少ない大人同士が、子育てへの思いを語り合い、互いの考えを学び合う。この時間は、「他の保護者の方々も同じ思いを持っていらっしゃる」「自分と同じように悩んだり、考えたりしている方がいる」と感じられる、心強く、安らぎを得られる貴重なひとときとなりました。

参加者からは、「これからの子育てに前向きな気持ちになれた」「親として子と一緒に成長したい」といった感想が寄せられ、参加された皆様にとって、大変実りのある「素敵なふれあい」の場となりました。



令和7年度

優良PTA文部科学大臣表彰・ 日P表彰団体・個人、広報紙コンクール全国表彰 受賞団体

・優良PTA文部科学大臣表彰

大田市立第一中学校PTA

・日本PTA全国協議会 会長表彰

団体 大田市立志学小・中学校PTA

個人 白根 俊彦

(奥出雲町立横田中学校PTA)



優良PTA文部科学大臣表彰



日本PTA全国協議会会長表彰
第47回 全国小・中学校PTA広報紙コンクール表彰

・第47回 全国小・中学校PTA広報紙コンクール

企 画 賞 松江市立八雲中学校PTA 「星雲」

佳 作 安来市立十神小学校PTA 「学鐘」

安来市立第一中学校PTA 「清流」

未来に繋げるPTA活動

このたび、日本PTA全国協議会会長表彰を受賞いたしました。当校は全校児童生徒25名の極小規模校ですが、保護者・教職員・地域の方々が協力し一丸となって子どもたちの支援にあたっており、長年に渡る継続的な活動が評価され大変嬉しく思います。事業においても、決して強制でないにもかかわらず、保護者をはじめ、教職員、地域の方々も、積極的にご参加、ご支援いただき、子どもの成長を共に喜ぶその姿勢に、PTA会長として、また一人の保護者としても感謝に絶えません。

しかしその一方で、昨今全国的にPTAの在り方が問われ、また教職員の働き方が見直される中で、私たちの組織はどうあるべきか、連合会とどう向き合うべきか、常々模索していました。そんな中、他県の連合会の活動を聞き、他のPTAとの交流を通じて、PTAという組織が、今日まで積み重ねた実績と信用に基づく力強さと、子どものために様々な支援形態をとることができる柔軟性を持った組織である、という気づきを得ることができました。そして、できる限りその組織

大田市立志学小・中学校PTA 会長 松尾 翔

を継続していくことが、未来の子どもたちの利益であり財産であると考えきっかけとなりました。

組織をとりまく環境は年々変化していきませんが、子どもたちの財産を未来へ繋げていく姿勢を忘れず、今後もPTA活動に邁進していきたいと思ひます。



島根県PTA連合会家庭教育委員会・雲南市PTA連合会合同研修会

「前向きな心を育む言葉の力」

～家庭と学校で共に育む、子どもたちの未来～

雲南市PTA連合会 研修委員長 陶山奈々絵

1月31日、雲南市のチェリヴァホールにて、島根県PTA連合会家庭教育委員会・雲南市PTA連合会主催による合同研修会を開催しました。

今年度は、講師に井村尚嗣氏を迎え、「前向きな心を育む言葉の力」～ペップトークで始める新たなコミュニケーション～と題した講演を行い、県内各地から保護者や教職員など約八十名の会員が参加しました。

開演に先立ち披露された「掛合太鼓ジュニア」の勇壮な演奏は、一打一打に魂がこもり、会場全体を一気に熱気で包み込みました。若さあふれる力強いリズムは、素晴らしい研修の幕開けにふさわしいものでした。

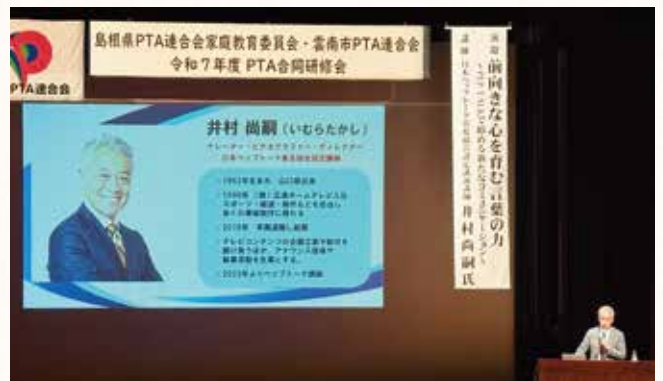
講師の井村氏は、アナウンサー時代の経験やスポーツ現場での事例を交え、力強くも温かい語り口で、言葉が持つエネルギーについて伝授されました。

本研修の核となったのは、スポーツの現場で監督が選手に贈る激励の言葉「ペップトーク」の活用です。これを、親子の対話や教育現場での関わりにどう応用するかについて、具体的にお話しいただきました。

私たちはつい、子どもに対して「遅れないで」「忘れ物をしないで」といった否定的な表現を使いがちです。しかし、それを「時間を守ろう」「準備を整えよう」という肯定的な目標へと変換することで相手の受け取り方は劇的に変わります。こうした一見小さな言葉の選択が、子どもたちの自己肯定感を高め、前向きな行動へと導く鍵であることを学びました。

ワークシートを用いた個人ワークでは、日頃の言葉を振り返り、相手に勇気や元気を与える表現へと「言い換える」作業に取り組みました。参加者が真剣にペンを走らせる姿は、自分自身の言葉を見つめ直す貴重な時間となりました。会場では、講師の問いかけに深く頷く姿や、真剣な眼差しでワークに向き合う光景が非常に印象的でした。講師の力強い言葉の一つひとつが、参加者の心に深く染みわたり、日常のコミュニケーションをより豊かにするための確かな指針を得ることができました。大人が前向きな言葉を発信し続けることが、子どもたちの自己肯定感を育む土壌となります。本研修で得た「前向きな言葉」が、子どもたちを包み込む温かな風となることを願ってやみません。

最後になりますが、開催にあたりご協力いただいた関係者の皆様、ならびにご参加いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。



令和7年度支援事業 支援助成結果

前期

大田市立大田小PTA	ドミノで地域とつながろう
出雲市立佐田中PTA	校舎新築10周年記念 「10年の感謝を花活動に込めて」
邑南町立口羽小PTA	口羽小PTA夏会
安来市立赤屋小PTA	盛り上げよう文化祭! 餅つきで繋ぐ地域との絆
海士町立福井小PTA	福井小学校PTA研修会
益田市立高津小PTA	ご縁の町たかつ
益田市立戸田小PTA	海風遊舎(うみかぜゆうしゃ)プロジェクト
益田市立益田東中PTA	メディア講演会並びに研修会

益田市立益田中PTA	益田中PTA・ともに子どもを伸ばす 大人の関わり方向上プロジェクト
益田市立豊川小PTA	豊川小PTCA・ともに子どもを伸ばす 大人の関わり方向上プロジェクト

後期

松江市立佐太小PTA	PTA研修会
安来市PTA連合会	研修会「性教育講演会」
出雲市立塩冶小PTA	子ども落語会
出雲市立四絡小PTA	PTA研修会・講演会
吉賀町立柿木小PTA	柿木村民まるごと交流プロジェクト
隠岐の島町立五箇小PTA	親子餅つき大会
出雲市PTA連合会	スサノオマジックとの交流会イベント

事務局だより 令和8年度事業について

1. 広報紙コンクール

- (1) 応募締切日 令和8年3月31日(火)
- (2) 応募条件
 - ・年1回以上発行していること
 - ・各号につき、3部ずつ送付(コピー・穴あき不可)
 - ・Webで発行されている場合は、Web参加も出来ますのでご相談ください。

2. 県P連会長表彰

- (1) 団体締切日 3月31日(火)
- (2) 個人締切日 4月30日(木)

3. 大会等の予定

- (1) 新旧役員会
6月6日(土)午後3:00～
- (2) 委員総会
6月7日(日)午前10:00～
- (3) 中国ブロック研究大会
(令和8年度は実施しない)
- (4) 第69回島根県PTA連合会研修大会・邑智大会
8月2日(日)12:00～16:00
- (5) 日P奈良大会 8月21日(金)・22日(土)
- (6) 幼こども園・小中・高・特別支援PTA 連絡協議会研修会
会場:大田市 11月28日(土)予定



令和7年度

島根県幼こども園・小中・高・特別支援PTA合同研修会

講師 浜田 博文氏 (筑波大学 教授)

研修テーマ 『家庭・学校・地域のつながりで築く子ども達の未来』
～これからのPTA活動の在り方～

○期日:令和7年11月29日(土) ○会場:松江市八雲アルバホール(松江市)

この研修会は、本連合会も構成員となっている島根県幼こども園・小中・高・特別支援PTA連絡協議会と島根県教育委員会が共催し、企画・運営を行っています。今年度は、111名(本連合会40名)の方にご参加いただきました。

講師の浜田氏には、「家庭・学校・地域のつながりで築く子ども達の未来～これからのPTA活動の在り方～」をテーマに、子どもたちの置かれている現在の教育の現状や子どもたちの成長環境としての家庭・学校・地域の在り方、学校の課題状況について、データでの分析結果を分かりやすく丁寧にお話しいただきました。

講演では、複雑で予測困難な社会を生きる現代の子どもたちの現状として、いじめや暴力行為、不登校の状況についてお話しされました。また、家庭(家族)の中で生まれた子どもたちが成長するにつれて地域社会と関わる中に「学校」があり、これからの子どもたちが安心して過ごすためには、家庭・学校・地域の連携・協働が必要であると説明して

いただきました。核家族化や地域コミュニティが変化する中で、「子育て」をすることの困難さが増大しており、子育てに悩みを抱えながらも孤立してしまう保護者が増加している現状があり、「人と人とのつながり」が子育てをしていく中で大切であることを参加者一同再認識しました。

講演終了後には、参加者での意見交換があり、研修会の感想やより良いPTA活動について、参加者同士が笑顔で意見交換を行い、参加者にとって学びの多い研修会となりました。



●参加者の感想から…

- 改めて家庭・学校・地域が一つになって子どもたちの明るい未来のためにフラットな立場で考えていく必要があると感じました。子どもが信頼できる大人の一人になれるよう、そしてそんな大人が一人でも増えるようにPTAとしても考えていくことが必要だと思いました。
- 地域の連携の大事さは以前から言われていたが、データ等分かりやすい資料で示されていて、とても分かりやすかった。地域とのつながり大事にしたいです。
- 小学校でのいじめや子どもの貧困率など自分が思っていたより深刻な問題があり、驚いた。きちんと知る必要があると感じた。
- 非常に勉強になりました。「PTA活動とは」という問題(課題)に対する回答を得られました。

小・中学生総合保障制度

(こども総合保険)

2026年1月現在の内容です。

オンラインでも お申し込みいただけます!!

(詳しくはパンフレットをご確認ください。)



選べる4プラン (2026年度版)

年間掛金【一時払】

Yプラン

19,990円

(1年分の掛金)

Xプラン

11,910円

(1年分の掛金)

TCプラン

8,310円

(1年分の掛金)

ACプラン

5,890円

(1年分の掛金)

総合保障制度の特長

※プランによってセットされている補償項目は異なります。総合保障制度の詳細に関しましては、パンフレットをご覧になるか取扱代理店・扱者または引受保険会社にお問い合わせください。

- いじめ、SNS上での誹謗中傷、ストーカーなどの被害にも備えられる!
- 学校貸与の端末(タブレットなど)を誤って壊して、法律上の損害賠償責任が生じたときも補償!
- 自転車事故でお子さまが加害者になってしまった場合の損害賠償責任も国内無制限補償!
- お子さまがケガをした場合に補償
- 熱中症、細菌性食中毒、ウイルス性食中毒を補償
- 学校の授業・登下校中などにお子さまが携帯している身の回り品を補償
(修理費または時価額のいずれか低い金額を補償します。自転車等一部補償対象外のものがあります。)
- オンラインで簡単に保険金請求(デジタル保険金請求)

※デジタル保険金請求の対象となる補償の有無は、加入者証にてご確認ください。

取扱代理店・扱者

有限会社メイジ



出雲市斐川町直江4888-4
(受付時間:午前9:00~午後5:00 土、日、祝日、年末年始を除く)
TEL.0120-001-230(通話料無料)

引受幹事保険会社

AIG損害保険株式会社 山陰支店

松江市伊勢宮町519-1 山陰中央新報駅前ビル6F
(受付時間:午前9:00~午後5:00 土、日、祝日、年末年始を除く)
TEL.0852-26-2781 FAX.0852-26-2776

承認番号:S-260199 有効期限 2026年12月まで

